

2022年 2月 3日

お客様 各位

**サトパツ株式会社**

代表取締役社長 佐藤晋二

弊社製品に使用している東レ(株)製樹脂材料の UL 認証不適切行為による影響につきまして

拝啓

貴社益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

このたび東レ株式会社より、第三者安全科学機関である UL (Underwriters Laboratories) に対し不適切な行為を行っていた旨が同社 HP 上で発表されました。つきましては、弊社製品への影響について調査した結果をご報告申し上げます。

敬具

1. 不適切行為について

東レ(株)の販売している樹脂製品の一部において、第三者安全科学機関である UL の認証登録に関する不適切な対応を行った品種を販売していたことが判明しました。

不適切行為の内容は、UL が定めている、樹脂の難燃性能を示す UL94 の規格に関し、一部の品種で UL が実施する認証試験で指定されたグレードとは異なる試験用のサンプルを作成して提出していたこと並びに認証登録された品種の一部で、登録時の組成と異なるものを製造・販売していたこととなります。

2. 不適切行為が行われた材料 (ナイロン樹脂) を使用している製品

- ・ブッシング BU-4801
- ・ターミナル T-45-B ※リング色 黒のみが対象となります

3. 製品への影響

対象材料を使用している弊社製品は、製品としてのUL認証は取得しておりません。また、現時点で対象材料のUL認証が取り消しとなる通達は無く、難燃性能がULの安全規格要求に達していないとの判定も出ておりませんので、現行材料での生産・販売を継続しております。

4. 今後の対応

対象材料の難燃性能が不適切行為により UL の安全規格要求に達していないかにつきましては現時点で確定していません。

今後の対応につきましては、難燃性能の懸念が解消され次第、弊社の対応を策定し実施して参ります。

5. その他

ご不明の点につきましては、弊社営業担当までお問い合わせ下さい。

以上